

人材育成委員会【教育部門】/【若手部門】/【男女共同参画部門】/【社会貢献部門】の概要

設立の経緯

2001年2月 男女共同参画ネットワーク準備委員会を発足  
2001年7月 「男女共同参画委員会」設立  
2006年3月 「人材育成・男女共同参画委員会」へ発展的改称  
2011年4月 「人材育成・教育事業委員会」へ改編  
2012年2月 「人材育成委員会」へ改称

目標

老若男女を問わず、誰でも専門性を活かして貢献できる社会の構築を目標としています。「教育部門」「若手部門」「男女共同参画部門」「社会貢献部門」の4部門から構成され、特別顧問の先生方のご協力のもと、43名の委員及びサポーターが幅広い活動を行っています。大きな社会的影響力を持つ応用物理学会において活動を行うことで、学会の活性化、ひいては社会の活性化に寄与したいと考えています。

組織図



【教育部門】/【若手部門】/【男女共同参画部門】/【社会貢献部門】の主な活動

シンポジウムの開催

春季・秋季学術講演会において2001年より人材育成および男女共同参画に関するシンポジウムを開催しています。

「理系出身の女性たち」HPおよび「応用物理分野のキャリアデザイン(ロールモデル集)」

女性・若手研究者とその卵たちにとっての将来像の一端となり、有効な励ましになれば、との思いから応用物理学会HPにて「理系出身の女性たち」ページを設置、女性研究者のロールモデルの紹介を行っています。

また、応用物理分野の男女の研究者によるロールモデル集を作成し、キャリアデザインの紹介をしています。

理系出身の女性たち  
理系出身の女性たちは、理系分野で活躍する女性研究者のロールモデルとして紹介されています。理系出身の女性研究者は、理系分野で活躍する女性研究者のロールモデルとして紹介されています。理系出身の女性研究者は、理系分野で活躍する女性研究者のロールモデルとして紹介されています。

応用物理学会HP「理系出身の女性たち」より



男女共同参画全般

託児室の設置

2005年より春季・秋季学術講演会に託児室を設置してきました。利用者は既に100名を大きく超えています。



託児室の様子

国際交流

2008年にInternational U of Pure and Applied Physics (IUPAP)-WG "Women in Physics"にて講演、2010年にはAsia-Europe Physics Summit (ASEPS)にてポスター発表を行いました。



中高生の理系進路選択支援

女子中高生の理系進路選択の支援を目的として、女子中高生と科学研究者・技術者、理系大学生・大学院生と交流し、理系の魅力を伝える場として2008年から「女子中高生夏の学校～科学・技術者のたまごたちへ～」を共催しています。キャリア講演、サイエンスアドベンチャー(科学探検隊)での実験、ポスターセッション等を通して多くの女子中高生の皆さんとの交流の場を広げています。



キャリア講演



実験の様子

表彰事業

2009年に女性研究者奨励育成貢献賞(小館賞)が設立され、2011年には、「女性研究者研究業績・人材育成賞」に名称変更を行いました。本年度、A部門:学会活動を通して応用物理学の研究活動において著しい成果をあげた女性研究者に高井まどか氏(東大)、B部門:男女共同参画活動の推進・人材育成に貢献することで科学技術の発展に大いに寄与した研究者(男女対象)に石川和枝氏(元上智大)が選ばれました。

博士のキャリア相談会の実施

2008年秋季より博士人材と求人側の直接的なインターセクションの場を提供する「博士(プレ、ポストを含む)のためのキャリア相談会」を春季・秋季学術講演会において開催しています。各回十数機関からのキャリアアドバイザーブースが開設され、100名を大きく超える来場者に恵まれ、活発な交流が行われています。



博士のキャリア相談会ポスターより

若手研究者の育成・支援/社会貢献

コミュニケーションプラザの開設

2010年春季より学会参加者が自由に集まり歓談できる場として開設されました。研究分野の枠、シニア・若手の年齢の枠を超えた交流やキャリア相談などが活発に行われ、人材交流の助けになっています。

キャリア・エクスプローラーマークの導入

求職側であるポスドクあるいは学生と、求人側である企業・大学・研究所のインターセクションの場である学術講演会において、講演者が求職中であることを明示できるよう、2008年の春季講演会より「キャリア・エクスプローラーマーク」(CEマーク)の運用を開始しました。発表者である求職中のポスドク・学生はCEマークをプログラムや予稿集、ポスター、発表用資料などに表示することができます。この活動はNature誌でも紹介されました。



CEマーク

Logo offers physicists a system for hire education  
Looking for a job in applied physics? Then say so when you give your next talk. That's the idea behind an initiative from the Japan Society of Applied Physics, which is encouraging postdocs and graduate students to advertise their availability on Nature, vol.448, p.739 (2007)より

応用物理分野の将来ビジョン

アカデミックロードマップ(人材育成)の作成

人材育成クラスターでは、「科学技術創造立国」を推し進めるべく、次世代を担う科学者・技術者の育成を目標とし、2008年に「間口を広げる」「女性研究者」「トップを上げる」「産学連携」の4つの観点からロードマップをまとめました。2010年にはこのマップの見直し、横断型マップ・発展史マップを作成し、具体的な提言を行っています。



インフォーマルミーティングの開催

2010年秋季学術講演会では、「若手のキャリアデザイン」と題してこれまでに行ってきた「博士のキャリア相談会」の現状について紹介しました。企業や大学が求める人材、学会における若手支援のあり方などについて議論が行われました。また、社会貢献部門の新たな取組みとして「くるま座」を開設し、自然科学・社会科学一般の諸問題を討論する場を設けました。



ミーティングのポスターより

詳細は下記HPをご覧ください。